

東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科 科： 保健体育科目： 体育 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（大修館）

使用教材：（）

教科の目標：①基礎的体力と運動技能の向上を図る。②健康・安全についての理解を深める。③集団における自己の役割を自覚して、協力及び責任ある行動をする。④創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

- 【知識及び技能等】 ・ ルールや知識を身に付ける。 ・ 技能向上 ・ 記録更新を目指す。 ・ 体力の向上を目指す。
- 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・ 運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・ 生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

【A：知識及び技能】	【B：思考力、判断力、表現力等】	【C：学びに向う力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールや知識を身に付ける。 ・ 技能向上 ・ 記録更新を目指す。 ・ 体力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・ 運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・ 生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数	
1 学 期	単元名・・・陸上競技 A)運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B)自己のベストタイムに挑戦する C)他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元名・・・バレーボール・ソフトボール A)ルールを理解しプレーができる B)基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C)他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム ◎ソフトボー ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎	バレーボール ソフトボール 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	11
	単元名・・・水泳 A)水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B)各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C)他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
定期考査						23	

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
2 学 期	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブクリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	ソフトボール・バスケットボール・バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20
	単元名・・・陸上 ・自己の体力向上を目指す ・自己のベストタイムに挑戦する ・生涯体育への導入にする	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	定期考査						27

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
3 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入に	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	7
	単元名・・・サッカー Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎サッカー ・パス、ドリブル、シュート、シュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム	サッカー 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【態度】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	体育理論 Aスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 Bスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 Cスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 機器を活用した調べ学習	ICT 【知識・技能】AできたBややできたCできてない スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						16

令和5年度 年間授業計画

東京都立橘高等学校

教科・科目	保健	1単位	対象学年	1学年
教科書	現代高等保健体育		教科担当者	
副教材			A() B() C()	

目標	【A：知識及び技能】 保健の学習指導に基づき、学習の習得状況について評価する。授業で学んだ知識を他の教科や生活の場面で活用できているか・理解しているかを評価する。	【B：思考力、判断力、表現力等】 保健の学習で得た知識を活用し課題を解決する思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかを評価する。	【C：学びに向う力、人間性等】 現在の学習内容を把握し、相互に学習の進め方を確認しながら課題解決に向けての工夫ができていないかを評価する。
----	--	---	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	1 単元 現代社会と健康 ①日本における健康課題変遷 ②健康の考え方と成り立ち ③ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ④健康に関する意志決定・行動選択	10	国民の健康水準と健康の意義を理解させる。	○	○		学習ノート 課題プリント
	さまざまなライフスタイルが健康に及ぼす影響を知り、食事・運動・休養・睡眠・喫煙・飲酒・薬物及び医薬品等の正しい使い方を理解する。			○	○	定期考査、 学習ノート提出 グループ協議	
二 学 期	2 現代における感染症問題 ⑥感染症の予防 ⑦性感染症・エイズ予防	14	新たな感染症問題の防止のために、自分でやれること、社会がすべきことを理解する。				課題プリント、 グループ協議 定期考査、 学習ノート提出
	⑧生活習慣病の予防と回復 ⑨身体活動・運動と健康 ⑩食事と健康 ⑪休養・睡眠と健康 ⑫がんの予防と回復 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ⑯精神疾患の特徴 ⑰精神疾患への対応		エイズの実態を知り、エイズや性感染症の予防のためにすべきことを理解する。 大脳の機能を知り、心の健康について理解を深め自己実現することの意義を理解する。	○	○	○	
三 学 期	⑱事故の現状と発生要因 ⑲交通事故防止の取り組み ⑳安全な社会形成 ㉑応急手当の意義と救急医療体制 ㉒心肺蘇生法 ㉓日常的な応急手当	7	二輪車や自動車の特性等を理解し、安全な社会を構築する大切さを知る。				課題プリント、 グループ協議 定期考査、 学習ノート提出
	合計	31	救急法の意義とその具体的な方法についてダミーを使用して身につける。	○	○	○	

東京都立橋高等学校令和5年度 数学 数学 I 年間授業計画

教科： 数学科 目： 数学 I 単位数： 3単位

対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書： (最新数学 I (数研出版))

使用教材： (Study-Upノート数学 I (数研出版))

教科の目標：

【知識及び技能等】 (数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。)

【思考力・判断力・表現力等】 (数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。)

【主体的に学習に取り組む態度】 (数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期 単元名・・・数と式 【知識】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 定期考査	・整式の加法・減法・乗法・展開公式 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・1次不等式 ・連立不等式	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	30
2 学期 単元名・・・2次関数 【知識】:二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考】:二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 定期考査	・ $y=ax^2$ のグラフ ・ $y=ax^2+q$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ ・平方完成 ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ・2次方程式 ・2次不等式	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	39
3 学期 単元名・・・図形と計量 【知識】:正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考】:図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 単元名・・・集合と命題 【知識】:集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思考】:集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 単元名・・・データの分析 【知識】:コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考】:目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行うことができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 定期考査	・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の表 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理・余弦定理 ・三角形の面積 ・集合と部分集合 ・共通部分、和集合、補集合 ・命題と集合 ・命題と証明 ・データの整理 ・データの代表値 ・四分位数、箱ひげ図	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断 【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断 【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	6
○	○					

東京都立橋高等学校 令和5年度 産業科 産業技術基礎(木工基礎) 年間授業計画

教科：産業(ものづくり)、科目：産業技術基礎(木工基礎) 単位数：3単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(なし)

使用教材：(なし)

教科の目標：伝統技術の基礎的な技術を実験や実習によって体験し、興味・関心を高め、意欲的な態度を身につけさせる。

【知識及び技能等】 (ものづくりに関する基礎的な知識と技術を身につけ、それらを取り扱う技術を身に付ける。)

【思考力・判断力・表現力等】 (ものづくりに関する基礎的な特質について思考・判断し、その活用方法を表現する能力を身に付ける。)

【主体的に学習に取り組む態度】 (ものづくりに関する基礎的な知識を主体的に身に付け、その活用を意欲的に取り組む態度を身に付ける。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
木材加工の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。	木材加工の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	木材加工について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	態度	配当 時数
1 学期	単元名・・・「鋸」と「さしがね」 【知識】:鋸・墨付け 【思考】:道具の知識・使用方法 【態度】:積極的に学ぶ態度	鋸・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋸の使い方を、横引き鋸の練習を通して理解させる。	【知識】:条件を満たした作品であること 【思考】:作業報告書内容 【態度】:授業態度・出席状況・発言	○	○	○	3
	単元名・・・「鑿」と「さしがね」 【知識】:鑿・墨付け 【思考】:道具の知識・使用方法 【態度】:積極的に学ぶ態度	鑿・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「振分け」と鑿の使い方を、相欠き作成を通して理解させる。	【知識】:条件を満たした作品であること 【思考】:作業報告書内容 【態度】:授業態度・出席状況・発言	○	○	○	3
2 学期	単元名・・・鍋敷きの墨付け・作成 【知識】:鋸・鑿・さしがね 【思考】:加工方法 【態度】:積極的に学ぶ態度	鍋敷きの墨付け・加工を通して、鋸・鑿・さしがねの技能習得を目指す 「矩巻き・振分け」「鋸・鑿」を作品制作を通して使い方を習得する。	【知識】:正しい墨付けであること。 【思考】:作業報告書 【態度】:授業態度・出席状況・発言	○	○	○	3
	単元名・・・鍋敷きの作成・仕上げ 【知識】:鋸・鑿・鉋 【思考】:加工・仕上げ方法 【態度】:積極的に学ぶ態度	鍋敷きの加工・仕上げを通して、鋸・鑿・鉋の技能習得を目指す。 「鋸・鑿・鉋」を作品制作を通して使い方を習得する。	【知識】:設計図通りの作品である。 【思考】:作業報告書内容 【態度】:授業態度・出席状況・発言	○	○	○	3

東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科：国語科 科目：現代の国語 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(第一学習社『標準 現代の国語』)

使用教材：(ネクスト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク)

教科の目標：作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】 (読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。)
- 【思考力・判断力・表現力等】 (本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。)
- 【主体的に学習に取り組む態度】 (進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当
				○	○	○	時数
1 学 期	単元名…「自分のことを知ってもらおう」 【知識】:表記・表現の基本ルールを理解している。 【思考】:相手に伝わるように表現を工夫している。 【態度】:進んで活動に参加している。	教材:「スピーチで自分を伝える」「書き方の基礎レッスン」等 ・原稿用紙の使い方を理解する。 ・相手に伝わる話し方を理解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「世界を広げる」 【知識】:接続詞の用法について理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「なぜ本を読むのか」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・言い換え表現についての理解を深める。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「人間と文化」 【知識】:対比表現について理解している。 【思考】:文章を読んで自分の考えを深めている。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「水の東西」等 ・東西の対比関係を読み、二項対立についての理解を深める。 ・文章を参考に、二項対立の用法を理解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	2
	定期考査			○	○		2
2 学 期	単元名…「言葉が開く世界」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:擬音語などの表現技法を理解している。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「言語としてのピクトグラム」等 ・「言語」の機能を知り、言語表現の多様性について考えを深める。 ・視覚的な情報を活かし、文章を理解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「世界を広げる」 【知識】:筆者の主張と例示について理解している。 【思考】:段落相互の役割や関係について理解している。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「世界は謎に満ちている」等 ・主張と例示の関係について考えを深める。 ・段落相互の関係を把握することで、文章の構成を理解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「書いて伝える」 【知識】:情報を的確に説明する方法を理解している。 【思考】:必要な情報を収集し、相手に伝わる方法を理解している。 【態度】:進んで文章を書こうとしている。	教材:「地域の魅力を紹介する」等 ・相手に伝わるために、必要な情報を収集・整理し、活用する方法を理解する。 ・わかりやすく説明する方法を理解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「社会と人間」 【知識】:小説の手法を理解している。 【思考】:本文を根拠として解釈できている。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「『弱いロボット』の誕生」・人はなぜ仕事をするのか等 ・実社会と日常生活を結び付け、自身の考えを深める。 ・文と文、相互の関係を理解し、文章を読解する。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
3 学 期	単元名…「現代と社会」 【知識】:文章読み、筆者の思いを理解できる。 【思考】:筆者の考えと一般論を分けて考えている。 【態度】 : 進んで本文を読もうとしている。	教材:「黄色い花束」等 ・筆者の考えと一般論をわけて考える。 ・文章に込められている筆者の思いを捉える。 ・過去と現在を読み分ける。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「話して伝える」 【知識】:相手に伝わるように話し方を工夫している。 【思考】:相手の反論を想定して自分の展開している。 【態度】:進んで話し合いを進めようとしている。	教材:「合意形成のための話し合いを行う。」 ・相手の反論を想定して自分の論を展開する。 ・他者の意見を聞き、自身の考えを深める。	【知識】 : ワークシート・定期考査 【思考】 : ノート記述・定期考査 【態度】 : ワークシート	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科 国語科 科目 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(数研出版 『新編 言語文化』)

使用教材：(パーフェクト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク)

教科の目標： 作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】 (読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。)
- 【思考力・判断力・表現力等】 (本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。)
- 【主体的に学習に取り組む態度】 (進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当
				○	○	○	時数
1 学 期	単元名…「古文に親しみ、古文の世界を楽しむ」 【知識】：歴史的仮名遣いを理解している。 【思考】：登場人物の状況を把握している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「児のそら寝」「いろは歌」「芥川」等 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・平安時代の文化を理解する。 ・文章に書かれた登場人物の状況を理解し、その心情を味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「日本語の中に生きる漢文を知る」 【知識】：訓読のきまりや漢語の基本構造を理解して 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「春暁」「漁夫の利」等 ・漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解するとともに、訓読のきまりや漢語の基本構造を理解する。 ・漢詩を音読し、二十文字で広がる世界を味わうことで、漢文に親しむ。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「現代の文学作品を味わう」 【知識】：視覚的・聴覚的な工夫について理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「サーカス」等 ・リズムを味わい、作者の工夫について考察することで、豊かな表現力を磨く。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	2
	定期考査			○	○		2
2 学 期	単元名…「受け継がれる古典」 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「羅生門」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。 ・『宇治拾遺物語』『今昔物語』との比較を通して、作品の特徴について考察する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「現代にも生きる教え」 【知識】：作品中のユーモアを理解している。 【思考】：筆者の豊かな感受性について理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「丹波に出雲といふ所あり」等 ・ユーモアを交えつつ鋭い人間観察や人生観に満ちた作品を読み感受性を養う。 ・経済界の人々からも支持される筆者の考え方について学び、表現力を磨く。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「戦乱下の人間像」 【知識】：語りの中の文学の特徴を理解している。 【思考】：当時の武士の生き方を把握している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「木曾の最期」等 ・「語りの文学」の特徴を知り、音読によってリズムを味わう。 ・当時のいくさの作法、武士の生き方について学び、現代に生きる自身の人生について考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「地域のことば」 【知識】：小説の手法を理解している。 【思考】：本文を根拠として解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「とんかつ」等 ・登場人物の言動から読み取れる心情について理解する。 ・物語展開や場面構成について学び、繰り返しと変化に着目して小説読解の方法を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
3 学 期	単元名…「論語のことば」 【知識】：漢文の基本構造を理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「論語」等 ・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考え方を知る。 ・孔子の思想を通して、ものの見方や考え方を広げる。 ・論語と現代社会との接点について知り、古典作品と現代とのつながりについて考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「文体の魅力」 【知識】：寓意について理解している。 【思考】：批判的に読む力を身につけている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材：「名人伝」等 ・文体と作品世界を味わいながら、寓意を読みとるとともに、批判的に読む力を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

東京都立橋高等学校令和5年度 教科：芸術 科目：書道Ⅰ 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：教育出版 書道Ⅰ

使用教材：補足プリント、毛筆一式

教科の目標：

【知識及び技能等】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技術を身につけるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術よさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたり芸術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
中国・日本書道史を理解し、書道技能を向上する。	古典をよく見る力、古典を作品に反映させる力を養う。	練習の習慣化、自己課題を見出す力を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名：象形文字 【知識・技能】象形文字の書き取り 【思考】古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜	・用具の手入れ ・象形文字、	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：楷書 【知識】：楷書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】：練習への集中・できた時の喜	・九成宮禮泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身帖 ・北魏諸碑	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：篆刻 【知識】：篆書の読み書き 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜	・自分の名前の篆書 ・書体字典の引き方 ・篆刻道具一式	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
2 学期	単元名：行書 【知識】：行書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜	・蘭亭序 ・風信帖	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：隸書 【知識】：隸書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜	・漢代八分諸碑	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：仮名 【知識】：変体仮名の読み書き 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜	・平安仮名諸本	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
3 学期	単元：創作 【知識】：古典諸本の知識 【思考】：古典をよく見る。構成を考え 【態度】練習への集中・できた時の喜	・古典諸本の復習 ・創作作品の制作	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10

東京都立橋高等学校令和5年度 教科 科目 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 美術Ⅰ 光村図書 ）

使用教材：（ ）

教科の目標：

【知識及び技能等】（ 芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 ）

【思考力・判断力・表現力等】（ 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 ）

【主体的に学習に取り組む態度】（ 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 ）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、創造的な表現をするための技能を身に付けるようにする。	美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。	主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数	
1 学 期	<p>単元名・・・美術の内容と鑑賞</p> <p>【知識】：美術の分野の内容とその特質について理解する 【思考】：教科書の作品鑑賞を通して作家の心情や多様な表現について関心を深める。 【態度】：教科書の構成、内容について興味をもつ。</p> <p>単元名・・・鉛筆デッサン</p> <p>【知識】：鉛筆デッサンの画材や表現方法を理解し、工夫しながら表現する。 【思考】：鉛筆デッサンのプロセスや表現方法の工夫について理解を深める。 【態度】：鉛筆デッサンに興味を持ち、粘り強く製作に取り組む。</p> <p>単元名・・・色彩の基礎</p> <p>【知識】：色の仕組みや特徴について、図版と説明の学習を通して理解を深める。 【思考】：色の仕組みや特徴について考え、生活の中で活かせるように見方や感じ方を深める。 【態度】：色の性質に興味を持ち、混色演習に積極的に取り組む。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の構成と見方について 絵画、彫刻、デザイン、映像メディアの特質と作品鑑賞 資料ページの紹介と活用について <ul style="list-style-type: none"> グラデーション作成（明暗の階調） 想定デッサン（基本形態） 自分のデをかく 人物クロッキー <ul style="list-style-type: none"> 色の三属性、色相環、補色 色の対比と同化 色のトーン分類と配色効果 色の混色（加法と減法） 混色演習（三原色、明度、彩度段階） 	<p>【知識】：教科書の構成と内容について理解する 【思考】：作品の鑑賞を通して多様な表現と作家の心情について関心を深める 【態度】：美術の分野とその内容について興味を持つことができる</p> <p>【知識】：鉛筆デッサンの作例を鑑賞し、基本的な用具の使い方や描き方を確認し、理解している。 【思考】：鉛筆デッサンの描く方法や表現の工夫などについて、見方や感じ方を深めながら描写できる。 【態度】：鉛筆デッサンに興味を持ち、材料の特性を工夫しながら取り組もうとしている。</p> <p>【知識】：①色の仕組みや特徴について理解している。②色の混色を理解し、絵の具の混色によって目的の色を作ることができる。 【思考】：色の仕組みや特徴について考え、混色による色出しと着色ができる。 【態度】：色の性質に興味を持ち、混色演習に積極的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
2 学 期	<p>単元名・・・文様のデザイン</p> <p>【知識】：文様のデザインの種類と多様性を理解し、目的や計画のもとに創造的に表わす。 【思考】：色や形の組み合わせ、構成などの効果について考え、独創的な文様を制作する。 【態度】：主体的に文様デザインの造形活動に取り組む。</p> <p>単元名・・・公共ポスター制作</p> <p>【知識】：ポスター制作のプロセスを理解し、目的や計画のもとに、着実に制作する。 【思考】：テーマの内容を伝えるための、効果的な図柄や文字の配置、構成、配色について考える。 【態度】：主体的に効果的なデザインを工夫し、表現活動に取り組む。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域や文様の鑑賞 リピテーションの表現手法について リピテーションの手法をもとに文様のデザインを考案する。 形や色のアイデアと構成 配色技法と配色計画・色の混色と着色方法 <ul style="list-style-type: none"> ポスター広告、作品の鑑賞 テーマを探す テーマについて調査する キャッチコピーと図柄のアイデア 書体のレタリング レイアウトと配色計画 本制作、下図制作～アクリルガッシュ着色 	<p>【知識】：①世界の地域の文様のデザインの鑑賞を通してその種類と多様性を理解している。②リピテーションの手法を理解し、目的や計画のもとに制作できる。 【思考】：色や形を工夫して文様のデザインの造形活動に主体的に取り組もうとしている。 【態度】：色や形を工夫して文様のデザインの造形活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【知識】：①ポスター作品の鑑賞を通して、メッセージを伝えるための効果的なデザインの役割を理解する。②目的や計画のもとに着実に制作できる。 【思考】：テーマの内容を伝えるための効果的な図柄や文字の配置、構成、配色について考え、独創的な表現ができる。 【態度】：わかりやすく効果的なデザインを工夫する。表現活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>単元名・・・自己をあらわす</p> <p>【知識】：自己を表現した作品を鑑賞し、今の自分を見つめなおす 【思考】：自己に関する情報をまとめ、材料や表現方法を工夫して表わす。 【態度】：主体的に自分の興味や心情を表わすことができる。</p> <p>単元名・・・ユーモアのあるイラストレーション</p> <p>【知識】：印刷媒体としてのイラストレーションの役割について理解する。 【思考】：図柄が変化する簡単な仕上げからテーマに沿ったアイデアを具現化する。 【態度】：変化するイラストレーションに興味を持ち、主体的に制作できる。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事故を表した教科書の図版や生徒作品を鑑賞する。 今の自分の興味の対象や心情について考える。 自己に関する考えをまとめ、表現方法の構想を探る。 本制作 <ul style="list-style-type: none"> 昨今のイラストレーターや生徒作品を鑑賞する。 変化するイラストについてアイデアのヒントの提示 イラストのテーマ、目的に沿ったアイデアスケッチ イラストカード本制作 	<p>【知識】：自己を表現した鑑賞を通して作家の表現と心情について理解する。 【思考】：自己に関する情報をまとめ、表現方法や表現材料を工夫して表している。 【態度】：自己を表わす表現活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【知識】：イラストレーションの表現や役割について理解する。 【思考】：図柄が変化するイラストのヒントをもとに、テーマや目的に沿った独創的な表現ができる。 【態度】：変化するイラストレーションに興味を持ち、アイデアから本制作まで意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査		○	○			

東京都立橋高等学校令和5年度 地理歴史科 歴史総合 年間授業計画

教科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組)

教科担当者： (A～F組：)

使用教科書： (『歴史総合』実教出版)

使用教材： ()

教科の目標： 世界と日本の歴史を比較し、関連付けながら、複数の視点をもって近現代史を学習する。

- 【知識及び技能等】 (近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解している)
- 【思考力・判断力・表現力等】 (日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し表現している)
- 【主体的に学習に取り組む態度】 (近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解することができる。	日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し、表現することができる。	近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名・・・近代化への胎動 【知識】：近代の胎動に関する基本的事項を理解できる 【思考】：近代化への胎動に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「歴史を学ぶための基礎知識」 「江戸時代の日本と東アジア秩序の変動」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	6
	単元名・・・欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識】：欧米の市民革命と「西洋の衝撃」に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：欧米の市民革命と「西洋の衝撃」に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「イギリス産業革命とアメリカ独立戦争」 「フランス革命とウィーン体制」 「アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立」 「オスマン帝国の衰退とロシア」 「アヘン戦争の衝撃と開国」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	10
	単元名・・・欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識】：欧米諸国と日本の国民国家形成に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：欧米諸国と日本の国民国家形成に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一」 「明治政府の諸改革」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
2 学 期	単元名・・・帝国主義の時代 【知識】：帝国主義の時代に関する基本的事項を理解できる 【思考】：帝国主義の時代に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争と日露戦争」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	7
	単元名・・・第一次世界大戦と大衆社会 【知識】：第一次世界大戦と大衆社会に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：第一次世界大戦と大衆社会に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「第一次世界大戦」 「ヴェルサイユ体制とワシントン体制」 「第一次世界大戦後の欧米諸国」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	10
	単元名・・・経済危機と第二次世界大戦 【知識】：経済危機と第二次世界大戦に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：経済危機と第二次世界大戦に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「ファシズムの時代」 「満州事変と軍部の台頭」 「第二次世界大戦」 「国際連合の成立と冷戦」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	10
	単元名・・・冷戦と脱植民地化 【知識】：冷戦と脱植民地化に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：冷戦と脱植民地化に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「植民地の独立」 「米ソ両陣営の動揺」 「日本の国際社会復帰と高度経済成長」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	3
	定期考査			○	○		
3 学 期	単元名・・・多極化する世界 【知識】：多極化する世界に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：多極化する世界に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「石油危機と世界経済」 「緊張緩和から冷戦の終結へ」 「日本の経済大国化」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	9
	単元名・・・グローバル化と現代世界 【知識】：グローバル化と現代世界に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：グローバル化と現代世界に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持とうとしている	「地域紛争と対立」 「国際秩序の変容」	【知識】：定期考査 【思考】：ワークシートの記述 【態度】：提出物	○	○	○	5
	定期考査			○	○		

年間授業計画様式

東京都立橋高等学校 令和5年度 理科・科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：

使用教科書：高等学校 科学と人間生活（第一学習社）

使用教材：新課程版 ネオパルノート 科学と人間生活（第一学習社）

教科の目標：

- 【知識及び技能等】 自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究する。
- 【思考力・判断力・表現力等】 観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 自然の物事・事象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	主体	配当 時数
1 学期	プラスチックの特徴と利用 【知識】：プラスチックの成分と特徴、活用を知る。 【思考】：プラスチックを取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。 ・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について、概ね理解している。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	金属の特徴と利用 【知識】：金属の成分と特徴、活用を知る。 【思考】：金属を取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識している。 ・資源の再利用方法に関心を抱き、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
2 学期	タンパク質とDNA 【知識】：タンパク質やDNAについて知る。 【思考】：DNAの仕組みを知り、遺伝情報の表し方を考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解している。 ・DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて関心を持ち、転写・翻訳の流れを理解している。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	生物の内部環境維持 【知識】：器官や環境維持の仕組みを知る。 【思考】：内部環境がどのように維持されているか理解し、その理由を考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・内部環境の維持の重要性について理解し、血中濃度、糖尿病、生体防衛について理解する。 ・ヒトの器官の仕組みを知り、生体反応が生じる理由を考察できる。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	7
	熱の性質とその利用 【知識】：温度の定義やさまざまな熱現象を知る。 【思考】：熱運動によって現象が起こることを理解し、他のエネルギーや仕事との換算ができる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・熱によって生じる現象を、熱運動をもとに考察し、説明することができる。 ・さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもって学習している。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
定期考査			○	○			
3 学期	日本の成り立ちと防災 【知識】：日本列島の特徴や火山について知る。 【思考】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解している。 ・火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	気象と防災 【知識】：地震や気象の基本事項について知る。 【思考】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・地震の発生のしくみや日本列島の地震活動とプレート、河川や海水のはたらきによって形成された地形について科学的に理解している。 ・地震や津波、豪雪、台風、集中豪雨、土砂災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴と防災について考えられる。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	定期考査			○	○		